

平成30年度 町全体の目的・目標・実施結果一覧

| 項目 | 目的 | 具体的目標 | H30年度実績 | 環境マネジメントプログラム | | | |
|------------------------|------------------------|----------------------------------|--|--|--|---|---------------------------------|
| | | | | 実施項目(手段) | 日程 | 実行部門 | |
| 環境 負 荷 項 目 | 省資源省エネ | 電気使用量を削減する | 平成25年度比15%以上削減 (平成25年度使用量 1,524,278.0kWh) 目標値 1,383,762.1kWh | 平成30年度使用量 平成25年度使用量 目標値 1,383,762.1kWh 目標達成度71.3%(9.4%増加) | 空調設備の使用管理を徹底する 会議室等の使用時、冷暖房の温度を適切に調整管理する 昼休みは本庁の窓口・共通部分以外の消灯を徹底する パソコン、コピー機等の事務機器の不使用时に電源をこまめに切る ノー残業デーを推進する(毎週水曜日) 省エネルギー対応機器への変換を促進する | 6月～9月、12月～3月 6月～9月、12月～3月 通年 通年 更新時 | 全部署 全部署 全部署 全部署 全部署 |
| | 省資源・省エネ、排ガス削減 | 公用自動車のガソリン使用量を削減する | 平成25年度比15%以上削減 (平成25年度使用量 38,330.1ℓ) 目標値 32,580.6ℓ | 平成30年度使用量 35,553.3ℓ 平成25年度使用量 38,330.1ℓ 目標値 32,580.6ℓ 目標達成度 90.9%(7.2%削減) | 同一方向の相互利用 不要なアイドリング、空ぶかし、急加速、急発進をしない 急ブレーキをかけるような運転をしない | 通年 通年 通年 | 全部署 全部署 全部署 |
| | | 公用自動車の軽油使用量を削減する | 平成25年度比25%以上削減 (平成25年度使用量 15,075.9ℓ) 目標値 11,306.9ℓ | 平成30年度使用量 10,527.2ℓ 平成25年度使用量 15,075.9ℓ 目標値 11,306.9ℓ 目標達成度 106.9%(30.2%削減) | 無駄な荷物を積まない 適切な点検整備を行う 法定速度内で経済速度(一般道路40～60km/h、高速道路80km/h)走行を心掛ける | 通年 通年 通年 | 全部署 全部署 全部署 |
| | | 通勤時による排ガス(CO2)排出削減 | CO2排出削減(努力目標) | 通勤時及び各種会合・研修会時に公共交通機関及び乗り合わせ等を行った | 通勤に自転車、乗合、公共交通機関を利用する | 通年 | 全部署 |
| | 省資源省エネ | 灯油の使用量を削減する | 平成25年度比35%以上削減 (平成25年度使用量 44,545.0ℓ) 目標値 28,954.3ℓ | 平成30年度使用量 25,659.0ℓ 平成25年度使用量 44,545.0ℓ 目標値 28,954.3ℓ 目標達成度 111.4%(42.4%削減) | ストーブ等の使用をできるだけ控える | 12月～3月 | 全部署 |
| | | LPガス使用量を削減する | 平成25年度比40%以上削減 (平成25年度使用量 5,095.9㎡) 目標値 3,057.5㎡ | 平成30年度使用量 2,585.8㎡ 平成25年度使用量 5,095.9㎡ 目標値 3,057.5㎡ 目標達成度 115.4%(49.3%削減) | 給湯器、ガスコンロの使用管理を徹底する | 通年 | 該当部署 |
| | 省資源 | 水道使用量を削減する | 可能な限り削減 | 平成30年度使用量 22,332.8㎡ 平成25年度使用量 24,698.0㎡ 平成25年度比削減率 9.6%削減 | 必要な量の使用を徹底し、節水を促進する トイレ用擬音装置の使用を徹底し、節水を促進する | 通年 通年 | 全部署 全部署 |
| | | | 紙使用量を削減する | 可能な限り削減 | 平成30年度使用量 3,376,883枚 平成25年度使用量 2,182,477枚 平成25年度比削減率 54.7%増加 | 両面コピーを徹底する 会議、配付資料の必要部数の最少化を推進する リサイクル封筒の使用を推進する 資料の個別所有を制限し、担当内での共有化を推進する ミスコピー等の裏面再利用、メモ用紙への再利用を促進する ファイルの再利用を推進する | 通年 通年 通年 通年 通年 |
| | | 可燃物の排出量削減 | 可燃物の排出量を抑制する | 可能な限り削減 | 平成30年度排出量 41,232.3kg 平成25年度排出量 44,217.4kg 平成25年度比削減率 6.8%削減 | 廃棄物処理運用手順書に基づき、リサイクルを徹底し可燃物の排出量を削減する | 通年 |
| | 環境 保 全 項 目 | グリーン購入の推進 | グリーン購入の推進・普及を図る | 指定物品については、原則グリーン購入を行う | 町全体 100% | 調達方針の定めにより推進を図る | 通年 |
| 廃棄物の削減 | | 資源ごみの分別を徹底し、リサイクルを推進する | 廃棄物処理運用手順書に基づく取組の徹底や見直しを行い、さらに推進する | 廃棄物処理運用手順書に基づき取組を行った | ビン類、カン、プラスチック、ペットボトル、トレイ、ペットボトルキャップに分別して排出 古紙類、シュレッダー屑、段ボール等を分別して排出 | 通年 通年 | 全部署 全部署 |
| 公共事業の環境配慮 | | 設計金額500万円以上の工事について手順書により環境配慮を行なう | 公共工事環境配慮手順書に基づく取組の徹底や施工業者と連携を図り推進する | 該当部署において公共工事環境配慮手順書に基づき取組を行った | 環境に配慮した設計及び施工方法の確認 建設副産物、建設発生土及び建設廃棄物の取扱いの確認 その他環境に配慮した事項の確認 | 設計時 設計及び事業完了時 設計時 | 該当部署 該当部署 該当部署 |
| イベント・行事等における環境配慮 | | 町の行うイベント・行事等について環境配慮を行なう | イベント環境配慮手順書に基づき推進する | イベント環境配慮手順書に基づき、担当部署が主体となって取組を行った | 環境負荷の少ない物品の使用、廃棄物の抑制、ごみの持ち帰り、分別徹底、リサイクル、マイクロ送迎や自転車、乗り合わせ、公共交通機関の利用促進 | イベント・行事開催時 | 該当部署 |

平成30年度八頭町全体の目的・目標・実施結果一覧

| 項目 | 目的 | 具体的目標 | 計 画 | H30年度結果 | 環境マネジメントプログラム | | |
|------------------------|------------------|------------------------|--|---|--|---|-----------|
| | | | | | 実施項目(手段) | 実行部門 | |
| 環境 保 全 項 目 | 廃棄物の削減 | 事務における環境配慮 資源再利用の促進 | 昨年度排出量より削減 | 分別やコピー用紙の無駄を減らしごみ排出量を削減する | H29年度 37,389.7kg H30年度 41,232.3kg 達成率 90.7% 保育所統廃合等により3月のゴミ排出量が大幅に増え、年間を通して、昨年に比べ排出量が約3,800kg増えた。 | 紙類は可燃ごみに含めず、再生古紙として業者へ出す。 ミスプリントを減らし、裏面使用を積極的に行う等可燃物への紙を減らす | 総務課 |
| | 町民への環境保全普及啓発 | 広報紙による環境情報の提供 | 年間12回 | 広報誌「やず」の紙面に環境情報を掲載し、住民に対し環境保全を促す | H30年4,6,7,8,9,10,12,R1年1,2月号の計9回町報にマイバック持参の啓発記事を掲載した また他事業の啓発物品にマイバックを採用し、町内各家庭へ配布を行った | マイバックの持参等の啓発の記事を掲載する | 企画課・地方創生室 |
| | 太陽光発電システム設置推進 | 各家庭の太陽光設置の推進 | 年間22件、補助金予算3,600千円 | 県と連携を図り、補助金制度の拡充を行い、家庭での地球温暖化防止、温室効果ガス排出削減に寄与する | 年間19件(達成率70%) 支払総額 2,525,375円 | 県と連携を図り、太陽光発電システム設置等に係る補助金制度の拡充に努める | 企画課・地方創生室 |
| | 事業における環境配慮 | 口座振替の推進 | | 各種税金の期限内納付と口座振替の推進を図る | 毎月20日過ぎに2日間(年間24回)納付期限のお知らせと口座振替推進の放送を朝昼晩の無線放送で実施した | 窓口での啓発、広報への記載、防災無線、納付書発送時のミニチラシで推進する | 税務課 |
| | 事業における環境配慮 | 電子申告の推進 | | 電子申告の広報・啓蒙普及を図る | 窓口、申告会場、広報やず等で随時電子申告の案内を行った | 広報や封筒、同封する文書に掲載し、窓口以案内チラシを置く | 税務課 |
| | 廃棄物の削減 | 分別の啓発 | | ごみの分別の啓発 | 区長会や女性団体連絡協議会、広報やず等で分別についての啓発を行った。環境美化推進委員会は中止となったため資料送付し周知した | 区長会で分別の啓発を行い、ホームページにも分別についての記事を掲載する | 町民課 |
| | 廃棄物の削減 | コンポストの設置促進 | | コンポスト(生ごみ処理機器)等の購入費補助金を行う | 区長会や広報やず等により制度の内容説明や導入の啓発を行った 年間コンポスト設置数 5基 | コンポストや生ごみ処理機の購入費補助金要綱に基づき推進する | 町民課 |
| | 生ごみ資源循環促進 | 生ごみ分別回収促進 | 5集落/年 程度追加 | 生ごみ分別回収、液堆肥化リサイクルの集落を増やす | 区長会や広報やず等で制度の内容説明や導入の啓発を行った 年間0集落 追加地域なし | 区長会で取組の推進を行う | 町民課 |
| | 資源回収事業の推進 | 古紙回収の実施 | | 家庭の古紙回収日を設定し、定期的に回収する | 計6回実施(5,7,9,11,1,3月) 回収量合計 34,028kg | 該当集落には古紙回収カレンダーを配布し、回収を啓発する | 町民課 |
| | 資源回収事業の推進 | 資源回収事業の奨励 | 参加10団体/年 | 参加団体を増やす | 実施回数32件(31団体) 補助金額 487,790円 | 資源回収等を行った団体に対し、補助金を出す | 町民課 |
| | 処理困難廃棄物の回収・適正処理 | 各家庭の処理困難廃棄物の回収 | 年1回 | 回収日を年一回設定し、各地域ごとに回収を行う | 11/17実施 計14か所で回収を実施した | 広報で回収日を掲載し周知を図り、適正に処理がされるよう回収を行う | 町民課 |
| | ごみ不法投棄対策 | ごみ不法投棄対策の推進 | 月4日程度 | ごみ不法投棄を監視し防止の啓発を行う | 環境監視員2名による監視を実施(月に4日) 回収総量 103.9kg | 環境パトロールを実施したり、防災無線や広報誌を活用し啓発する | 町民課 |
| | イベント・行事等における環境配慮 | イベント・行事等における環境配慮 | 主催する全てのイベント及び行事 | 町の行うイベント・行事等について環境配慮を行い、ごみの排出について町民への啓発や協力を求める | 各種イベントで再利用できる物品は極力再利用した また環境に配慮した物品を可能な範囲で使用し、会場では廃棄物の分別を徹底した | 各種イベント、祭りにおいて資源再利用を図り廃棄物を抑制し、準備及び当日においてもごみの分別を徹底したり公共交通機関の利用促進を行う | 産業観光課 |
| | 公園緑地緑化の推進 | 緑化事業の啓発普及 | | 緑化事業の啓発を図る 緑の羽共同募金を実施する | 緑の共同募金額 882,310円 「一株植樹」販売額 149,610円 | 緑化事業について区長会で事業説明をし集落や個人での植樹の推進を図る 緑の羽共同募金について区長会で協力依頼を行う | 産業観光課 |
| | 森林整備の推進 | 間伐事業及び作業道の開設による整備の推進 | 森林の整備 年間 245ha 作業道 年間30,000m | 間伐事業により健全な森林の整備を推進する 森林整備のための作業道開設を推進する | 間伐面積 106ha(達成率43%) 作業道開設 10,874m(達成率36%) | 国・県の補助制度を活用する | 産業観光課 |
| | 事業における環境配慮 | 公共事業の環境配慮 | | 公共工事環境配慮手順書に基づき取組を行う | 該当事業なし | 公共工事環境配慮手順書に基づく取組の徹底や施工業者と連携を図り推進する | 産業観光課 |
| | 環境保全活動 | 竹チップ・パウダーの推進 | | 竹林の有効活用を図り、竹チップやパウダーの製造の推進を図る | 竹林整備事業で竹チップ299.4㎡を搬出した | 竹林整備事業等への竹林間伐により発生する竹材の有効活用を図る 竹チップやパウダーの製造について広報紙やホームページに掲載し推進を図る | 産業観光課 |
| | 環境保全活動 | 鳥インフルエンザ対策 | | 発生時の対応を的確に行う | 該当事象なし | 疑いのある案件を含め、迅速な対応を行い、被害を最小限にとどめるよう努める | 産業観光課 |
| | 環境保全活動 | 口蹄疫対策 | | 発生時の対応を的確に行う | 該当事象なし | 疑いのある案件を含め、迅速な対応を行い、被害を最小限にとどめるよう努める | 産業観光課 |
| | 環境保全活動 | コイヘルペス対策 | | 発生時の対応を的確に行う | 該当事象なし | 疑いのある案件を含め、迅速な対応を行い、被害を最小限にとどめるよう努める | 産業観光課 |
| 農地の保全 | 農地の集積化 | 3ヘクタール | 農業経営基盤強化促進法による利用権設定及び中間管理事業により農地の集積を図る | 利用権設定 新規 年間248筆36.9ha | 両制度を広く周知し農地が有効に活用されるよう推進する | 農業委員会事務局 | |
| 事業における環境配慮 | 公共事業の環境配慮 | | 横田1号線改良工事、天満橋修繕工事において環境配慮を行う | 横田1号線改良工事(2工区)、天満橋修繕工事において、工事に使用する材料について再生材の使用を促進した | 可能な限り再生材を使用し、無駄のない事業計画を進め環境配慮を行う | 建設課 | |

| 項目 | 目的 | 具体的目標 | 計 画 | H30年度結果 | 環境マネジメントプログラム | | |
|--------|------------------|-------------------|---|--|---|--|------------|
| | | | | | 実施項目(手段) | 実行部門 | |
| 環境保全項目 | 清掃活動 | 集落沿線等の清掃活動 | 年1回 | 8月に各地域ごとに町内一斉清掃を行う | 8月5日に町内一斉清掃を郡家・船岡・八東地域で実施した | 建設業協会、郵便局等と共催で行い、チラシ等で一般参加者にも参加を呼び掛ける | 建設課 |
| | 事業における環境配慮 | 健診時の環境配慮 | | 個別受診券の導入により業務を効率化し、町民の負担を軽減する | ・パソコン受付導入により業務の効率化が図られた ・受診人数に応じて胃がん健診車の台数を増やし、待ち時間の解消に努めた ・必要に応じて検診に関するパンフレットを配布し、健康意識の向上を促した ・スタッフが空いている検診へ誘導するなどし、待ち時間の解消に努めた ・休日検診を実施し、受診しやすい体制づくりに努めた | 健診会場で人数調整を行う等適切に誘導し、待ち時間を短縮する 個別受診券の導入により、かかりつけ等の個人医院での受診をし易くする | 保健課 |
| | 医療費の抑制 | 健診受診率の向上 | 年間受診率 胃がん健診50.0% 肺がん検診 50.0% 大腸がん検診 50.0% 子宮がん検診 50.0% 乳がん検診 25.0% | 各集落の健康づくり推進員を通じ、健診受診率の向上を図る 健診、がん検診の受診率を向上させ、病気の早期発見、早期治療に努め、医療費を抑制する | ・受診券を個別郵送し配布 ・広報、防災無線等による周知 ・健康づくり推進員への受診勧奨チラシの配布依頼と周知依頼 ・がん検診料、特定検診料の無料化(継続) ・健診会場の適正配置 ・健康づくり推進委員会での健康講座の開催 受診者数 胃がん 2,260/6,230人 36.28% 肺がん 2,920/6,230人 46.87% 子宮がん 1,324/3,960人 33.43% 乳がん 801/3,681人 21.76% | 啓発ポスターやチラシを使って啓発したり、街頭キャンペーン等の活動を行う。 各集落の健康づくり推進員による健診前の説明会を開催し、健診受診の推進及び健康意識の向上を図る | 保健課 |
| | 環境保全意識の啓発 | 事業における環境配慮及び取組の啓発 | | 各種相談、健康教室等で環境保全啓発を行う | ・料理講習で食材の廃棄を減らす取り組みを実施、研修会参加者の重複をなくし、無駄を無くした ・教室で使用する指導媒体の見直しを行い、配布資料を減らす等無駄を無くした ・健康づくり推進員会、食生活推進協議会、各集落健康教室、健康相談会、転倒予防教室、家族介護教室での啓発活動を実施 | 各種相談や開催する教室での資源の再利用やごみの減量化を図り、環境に配慮した事業及び啓発を行う | 保健課 |
| | 医療費の抑制 | 介護予防の推進 | H22年度と同率の18.56% | 要介護認定者の割合を抑制する | 20.77%(2月時点) 1,228人/65歳人口5,887人+二号被保24人=合計5,911人 認定者 1,228人 | 各種相談、教室、介護予防支援の実施により、自立した生活が送れるよう要介護状態の予防のための指導を行う | 地域包括支援センター |
| | 省エネ省資源 | 節電の推進 | | クールビズ及びウォームビズの徹底を図る | 啓発チラシを目につきやすいところへ掲示する等、職員へ取組の意識付けを行い、一人一人が積極的に実践した | 各自が意識して取組む | 地域包括支援センター |
| | 廃棄物の削減 | 資源ごみの分別及びリサイクルの推進 | | 分別を徹底し、リサイクルを推進する | 廃棄物と資源の分別を徹底しごみの減量に努めた | 各自が意識して取り組む | 福祉課 |
| | 省エネ省資源 | 紙使用量の削減 | | 積極的に両面、裏面使用に努め、紙使用量を減らす | 可能な範囲で両面コピーを行い、封筒や裏面メモを利用し、紙の使用量削減に努めた | 各自が意識して取り組む | 福祉課 |
| | グリーン購入の推進 | グリーン購入の推進及び普及 | 指定物品100% | 環境配慮物品の購入を促進する | 100%実施 | 物品購入時は可能な限りグリーンを実施する | 福祉課 |
| | 省エネ省資源 | 節電の推進 | | 電灯及び空調を適切に使用する | 各部屋に貼紙をして利用者の協力を得ながら、適正な温度管理の徹底を行った 利用者の年齢や状況に配慮しながら空調管理を行い、こまめな消灯にも努めた | 不要な電灯はこまめに切り、空調設備は適正な温度管理を徹底し使用し、利用者にも啓発を行う | 中央公民館 |
| | 排ガス削減 | 公用車の適正使用の推進 | | 公用車の同一方向への乗り合わせを徹底する | 職員で声を掛けながら乗り合わせしたり、まとめて業務を行うことで走行を極力減らした | 職員同士の声かけをする | 中央公民館 |
| | イベント・行事等における環境配慮 | イベント・行事等における環境配慮 | | ごみの持ち帰りを推進する | 敬老会で職員がゴミ捨て場所で参加者に分別の案内を行った 公民館祭では各出店者へゴミの分別の協力依頼を行い、公民館備品を使用する等使い捨て容器の使用を控えた | 敬老会及び公民館祭でごみの持ち帰りを徹底する | 中央公民館 |
| | 廃棄物の削減 | 廃棄物の削減の推進 | | 古紙の再利用を図る等事務事業でのごみの減量をする とともに、各種講座でのごみの減量を推進する | 事業で使用する容器等は可能な限り公民館備品を使用し、ゴミの削減に努めた | 裏面使用やミスコピーの減量を図り、各種講座でのごみの減量を啓発するなど廃棄物の削減に努める | 中央公民館 |
| 医療費の抑制 | 食中毒の防止 | | 敬老会での弁当などの衛生管理を行う | 敬老会当日欠席者の弁当は速やかに処分したり、料理講座ではアルコール消毒を行う等衛生管理に努めた ゴミの減量を意識し、食材の保管等も意識した | イベントや料理教室等での衛生管理を行う | 中央公民館 | |

| 項目 | 目的 | 具体的目標 | 計 画 | H30年度結果 | 環境マネジメントプログラム | | |
|------------|--------------|---------------|-----------------------------------|---|---|--|-----------|
| | | | | | 実施項目(手段) | 実行部門 | |
| 環境保全項目 | 地産地消の推進 | 町内産、県内産の食材の利用 | 地元産 50% 県内産 30% 国内産 20% 外国産 0% | 地産地消を推進する | 昨年と比べ地元産の割合が約15%増えた 地元産の野菜不足の際は、可能な限り県内産を利用した 地元産 40.25% 県内産 34.5% 国内産 25.25% 外国産0% | 生産者と連携を図り、地元産の食材を有効に活用する | 学校給食共同調理場 |
| | 環境教育 | 環境保全教育の実施 | | ごみの分別、節水、物を大切にすることを啓発する | 使用しない電気はこまめに切り、消し忘れの見回りを徹底した。水の出しっぱなしや閉め忘れに注意し、節水に取り組んだ。すだれ等を利用し室内温度の上昇緩和に努め、エアコンの過剰使用にならないようにした。 | 日々節電、節水に努め、ごみの分別を子どもと共に行う 保護者会で子どもエコ活動入会への理解を求め、研修を行う | 郡家東保育所 |
| | 資源再利用の促進 | 廃材の保育教材への活用 | | 保育活動で廃材利用を行う | 廃材・廃品は各クラスで製作活動に使い、使用後は持ち帰った。宅配便の段ボール箱やチラシ等はほぼ毎日再利用している。 | 廃材の再利用を通して物を大切にすることを育む | 郡家東保育所 |
| | 資源回収事業の推進 | 資源回収の実施 | | ペットボトルのキャップ、廃油等の回収を行う | キャップは各家庭の協力も得ながら回収を行った(12月に回収終了) 廃油は定期的に業者が回収した | 保護者と協力して行う | 郡家東保育所 |
| | 省エネ省資源 | 節電・節水の推進 | | 不要な電源や水の無駄を減らす | 早朝の換気やカーテンの使用により断熱に努め、外気、室温に応じて暖房器具、照明器具の使用を調整した | 不要な電源はこまめに切り、水流の調整や蛇口の点検を行う | 郡家保育所 |
| | 地産地消の推進 | 町内産、県内産の食材の利用 | | 町内産及び県内産の食材を積極的に利用する | 地産物も多く地産地消を積極的に行った 地元・県内産使用率56.5% | 食材納入業者と連携を図り、旬の食材や町内及び県内産食材を積極的に使う | 郡家保育所 |
| | 環境教育 | 環境保全教育の実施 | | 年間計画に基づき環境保全教育を実施し、エコ活動や菜園活動、花壇活動等を行う | クリーン活動、菜園・花壇活動等を行い環境保全への関心を高めた プール活動を通し水の大切さを伝え、また保育では廃材を積極的に活用した。保護者の協力により参観日には乗り合わせや徒歩で来園してもらうなど自家用車の来園を減らした | 季節ごとに花や野菜を育て、自然と関わり命を感じる活動を行う さまざまな環境保全に関する保育活動を行い、保護者へも啓発する、 | 郡家保育所 |
| | 資源回収事業の推進 | 資源回収の実施 | | ペットボトルのキャップ、廃油、アルミ缶の回収を行う | ペットボトルキャップ、アルミ缶の回収は年間を通して保護者と協力して行った(12月で回収終了) | 保護者と協力して行う | 国中保育所 |
| | 環境教育 | 環境保全教育の実施 | | 菜園活動を通して、環境保全教育・啓発を図る | たらいに水を溜めて野菜に水やりをするなど節水に努めた。収穫物を給食に利用したり、食品ロスのイベントに参加し、子どもや保護者へ啓発を行った | 野菜や花を育てていくことを通して自然にふれあい、環境保全の大切さを学んだり、水やり等で資源を無駄にしない心を育む | 国中保育所 |
| | 資源再利用の促進 | 廃材の保育教材への活用 | | 牛乳パック等を保育活動で使用する | 廃材を使用して玩具を作ったり、作品展に飾ったりするなど日々の保育活動やイベント時に廃材を積極的に取り入れた | 保育所から出る廃材を使用したり、各家庭へ廃材の回収を依頼し、保育教材として使用する | 国中保育所 |
| | 省エネ省資源 | 節電・節水の推進 | | 節電・節水を日々心掛ける | 同じ施設利用団体やセンター利用者に節電の趣旨理解を図りながら、利用の多い乳児や高齢者の体調に配慮した温度調節を行った。また、退所を決まりよくする等、節電、省エネに努めた | 保育者が率先して取り組むとともに、利用者やファミリーサポートセンターへも理解と協力を依頼する | 子育て支援センター |
| | 資源再利用の促進 | 資源再利用の促進 | | 裏面使用を推進する | 複合機の不具合がある中でミスコピーを極力減らすよう努めた 裏面使用できない紙は再利用のためシュレッダーにかけ、廃棄物の削減に努めた | ミスコピーの裏面使用、メモ用紙への再利用を推進する | 子育て支援センター |
| | 廃棄物の削減 | 廃棄物の削減の推進 | | 利用者へごみの持ち帰りを推進する | 利用にあたって案内に「ゴミの持ち帰り」を記載することにより、利用者のゴミの持ち帰りを徹底した。 | 利用案内に使用済み紙パンツ等ごみの持ち帰りについて明記し、利用者へ協力依頼を行う | 子育て支援センター |
| | 環境保全普及啓発 | 環境保全図書の購入及び提供 | 年間4冊(3館合計) | 環境保全を目的として図書を購入する | 各図書館で年間4冊の環境保全に係る図書を購入した | 環境保全に関する書籍を購入し、貸し出しを推進することで、地域住民の環境保全意識の向上を図る | 郡家図書館 |
| | 環境保全意識の啓発 | マイバックの推進 | 利用全体の100% | 図書館利用者へマイバックを利用するよう推進する | 図書館利用者は100%マイバック利用だった | 利用される方へ随時声掛けを行う | 郡家図書館 |
| | 省エネ省資源 | 節電・節水等の推進 | 電気、水、紙使用量において 昨年度実績1%削減 | 節電・節水を日々心掛け、裏面使用を推進する | 削減率 電気1%減 ガス8%増 水道17%増 紙15%減 | 電気をこまめに切る、残業時の照明は最低限にする、ガスの利用調整、トイレの擬音装置の使用、紙の両面使用を推進する | 船岡住民課 |
| 事業における環境配慮 | 口座振替の推進 | 年間50件 | 米庁者に口座振替による納付、電子申請や甲吉を推進する | 推進件数 年間 65件 | 主に転入者や高齢者等の窓口来庁者へ口座振替による支払いや納税を勧める | 船岡住民課 | |
| 省エネ省資源 | 節電の推進 | 前年度比 3%削減 | 各水道施設や下水道施設の電気使用量を削減する | 年間使用料実績及び削減率 水道施設 削減率1%減 H29年度 1,424,984kW H30年度 1,406,164kW 下水道施設 削減率1%増 H29年度 1,733,898kW H30年度 1,807,285kW | 早めの漏水の修繕を行う ポンプ稼働時間の効率的な維持管理に努める | 上下水道課 | |
| 上下水道施設の整備 | 水道施設の適切な維持管理 | | 水道の適切な維持管理、有収率の向上に努める | 水道有収率 年間平均 78.8% | 定期的に水質検査を行ったり、定期的に点検等を行い早期に漏水に対処し、水道施設を効率的に運営する | 上下水道課 | |
| | 下水道の水洗化の推進 | | 下水道の水洗化率の向上に努める | 下水道接続率 92.6% | 区長会や個別対応時等で下水道接続への啓発を行う | 上下水道課 | |

| 項目 | 目的 | 具体的目標 | 計 画 | H30年度結果 | 環境マネジメントプログラム | |
|------------|-------------------|------------------|---|--|---|------------|
| | | | | | 実施項目(手段) | 実行部門 |
| 環境保全意識の啓発 | 環境関連研修の実施 | 年1回 | 議員のEMS研修を実施する | 議員2名出席 | 一般職員向けの研修に議員も参加するよう推進する | 議会事務局 |
| 環境保全普及啓発 | 広報紙による環境情報の提供 | | 議会だよりに啓発等の関連スペースを常設する | 環境にやさしい再生紙と大豆インキを使用した(100%実施) | 環境にやさしい再生紙及び大豆油インキを使用して作成する議会だよりを通して環境情報の提供を行う | 議会事務局 |
| 省エネ省資源 | 節電の推進 | | ノー残業デーを推進する | 水曜日に残業は行われなかった | 水曜日の始業時と終業時に課長から周知を行い、実施を促進する | 地籍調査課 |
| 環境教育 | 環境保全教育の実施 | 1回/月 | 毎月ECOの日を設定し、環境保全について考え話し合う | 残食活動を行い、子ども達が自分で食べる量を調整できるようになった。参観日には保護者にもエコ活動について啓発を行ったことで、アイドリングストップや節水が習慣化した。 | 環境保全について計画を掲示する等意識付けを行い、活動に取り組む残食を出さないよう調理の工夫をしたり、子どもに啓発を行う子どもエコクラブを活用し、保護者と共にエコ活動に取り組む | 船岡保育所 |
| 資源再利用の促進 | 廃材の保育教材への活用 | | 廃材を保育活動で活用し、ものを大切にすることを育てる | 廃材や自然物を積極的に製作活動に取り入れ、イベント等で使用した | 保育所から出る廃材を使用したり、各家庭へ廃材の回収を依頼し、保育教材として使用する | 船岡保育所 |
| 省エネ省資源 | 節電・節水の推進 | | 節電・節水を日々心掛ける | エコスタートは参観日と併用して行い、環境問題に関心が持てた。子どもの体調に配慮しながら、空調設備を使用するとともに、節水・節電に努めた | 保育者が率先して取り組むとともに、各年齢に応じた内容で推進する子どもエコスタートを活用し環境問題に関心をを持たせる | 船岡保育所 |
| 事業における環境配慮 | 事務における環境配慮 | | 各種証明書発行時に申請者から十分な聞き取りを行い、無駄を減らす | 証明書発行時のミス減らすため、申請者から十分な聞き取りを行うよう努めた(証明書124、保険証2、納付書36、納入通知書18) | 申請者に十分聞き取りを行い、不必要な証明書や納付書の発行を減らす | 八東住民課 |
| 事業における環境配慮 | 口座振替の推進 | | 来庁者等に口座振替による納付を推進する | 申請用紙およそ75部分を案内した | 納税のために来庁された者に口座振替を推進する税金や使用料等の納付案内通知に口座振替の案内を同封する | 八東住民課 |
| 事業における環境配慮 | イベント・行事等における環境配慮 | | 実施するイベント・行事等について環境配慮を行う | 部落解放研究会や講演会のポスター・チラシに若桜鉄道時刻表・マイカー自粛について記載し、郡家駅から会場までの送迎を行った。(利用者2名) | 人権尊重のまちづくり講演会及び部落解放研究会の開催にあたり、参加者へ公共交通機関の利用、マイカーの自粛、乗り合わせ等の呼びかけを行う | 人権推進課 |
| 廃棄物の削減 | 分別の徹底及びリサイクルの促進 | | 分別並びにリサイクルを推進し、廃棄物を削減する | 廃棄物の削減率 年間88.4% 152.5kg/172.5kg | 資源ごみの分別を徹底し、リサイクルを推進する | 男女共同参画センター |
| 事業における環境配慮 | イベント・行事等における環境配慮 | | 実施するイベント・行事等について環境配慮を行う | 各講座や教室等の資料は可能な限り紙の使用を減らし、イベントのチラシは必要部数を印刷した 資源ゴミの分別を徹底し、リサイクルを推進した | 実施する講座やイベントにおいて、環境に配慮した取り組みを行う | 男女共同参画センター |
| 廃棄物の削減 | 資源ごみの分別及びリサイクルの推進 | | 廃棄物処理運用手順書に基づく取組の徹底や見直しを行い、さらに推進する | 裏面使用の活用、封筒の再利用等を徹底し、廃棄物量の削減に努めた | 廃棄物の計量を行って減量への意識付けを行う | 学校教育課 |
| 省エネ省資源 | ノー残業デーの推進 | 10日/各四半期(年間:40日) | 毎週水曜日をノー残業デーとして取組を行う(目標10日間) | 年間33日間(達成率 82.5%) | 水曜日の朝礼に職員へ啓発を行う | 学校教育課 |
| 事業における環境配慮 | イベント・行事等における環境配慮 | | 実施事業における環境配慮と共に、町民への環境配慮協力依頼、環境保全の普及啓発を行う | 通学合宿、マラソン大会では、参加者にゴミの分別や削減、節電、節水について協力依頼を行った 成人式では公共交通機関の利用や乗り合わせによる来場を案内し、マイカー来場の自粛を行った | 各地域通学合宿やマラソン大会、成人式を実施するにあたり、参加者への啓発を行いながら取り組む | 社会教育課 |
| 省エネ省資源 | 節電・節水の推進 | | 節電・節水を日々心掛け、資源の大切さを伝える | 無駄な水を流さないことや、電気をこまめに消すなど、子ども同士が意識し合いながら取り組む姿が見られた 暖房の効率を考えながら使用を工夫した | 保育者が率先して取り組むとともに、各年齢に応じた内容で推進する | 安部保育所 |
| 環境保全意識の啓発 | 保護者への環境保全啓発及び協力 | | 排ガス削減について理解を深め協力を依頼する | 参観日に保護者へアイドリングストップを呼びかけたり、ポスターを掲示して協力依頼した | アイドリングストップに努め、排ガス削減についての理解を深める機会を作り、協力を依頼する | 安部保育所 |
| 資源再利用の促進 | 廃材の保育教材への活用 | | 環境配慮について理解し、廃材を保育活動で有効利用する | 水遊びに廃材を使用する等保育者が積極的に資源を大切にすることによって子ども達にも資源を大切にしようという意識が育ってきた。また、裏面使用し紙使用量の削減に努めた | 保育所から出る活用できる廃材を活用したり、牛乳パックやプリンカップ等の廃材を各家庭に回収を依頼し、保育教材として使用する | 安部保育所 |
| 省エネ省資源 | 節電・節水の推進 | | 節電・節水を日々心掛ける | 水の無駄な使用が見られた時はその都度声掛けを行った 以上児はおやつと一緒に食べる等、暖房の使用場所を減らす工夫を行った | 不要な電源はこまめに切り、水流の調整や蛇口の閉め方等各年齢に沿って推進する | 丹比保育所 |
| 資源再利用の促進 | 資源再利用の促進 | | 裏面使用を推進する | 複合機の不具合がある中でミスコピーを極力減らし、インク及び紙の削減に努めた | ミスプリント、コピーを減らすことに努め、裏面使用、メモ用紙への再利用を推進する | 丹比保育所 |
| 環境教育 | 環境保全教育の実施 | 1回/月 | 毎月エコたんびっ子活動を行い、保護者へも啓発を行う | 段ボールや牛乳パックなど廃材を利用して運動会用品を作ったり、トイレ掃除の際に水の使用を控える等、子どもたちと一緒にエコ活動に取り組んだ 夏野菜の栽培、世話、収穫を通し環境保全や節水について指導をした | エコたんびっ子年間計画を立て、週1回集会をしたり、クリーンクリーン活動等で意識的に取り組む活動内容や写真を掲示し保護者への協力や理解を求める | 丹比保育所 |
| 省エネ省資源 | 節電・節水の推進 | | 節電・節水を日々心掛ける | 水道蛇口の修繕を行い、節水に努めた。 室温や湿度を記録し、温度調節をするとともに、積極的に戸外に出て活動したり、体を動かすことで暖房器具の節約に取り組んだ。 | 保育者が率先して取り組むとともに、各年齢に応じた内容で推進する | 八東保育所 |

| 項目 | 目的 | 具体的目標 | 計 画 | H30年度結果 | 環境マネジメントプログラム | |
|--------|------------------|------------------|--------------------------------------|---|---|------------|
| | | | | | 実施項目(手段) | 実行部門 |
| 環境保全項目 | 省エネ省資源 | 環境保全教育の実施 | 自然を通じた環境教育を実施する | 町婦人団体による食品ロスのお話を聞き、食品の大切さや残食について意識を高めた。感染症が流行する時期には加湿器を常時使用するようになった。 | 環境教育を実施し、自然体験を通して素材の特性を生かした活動を行う | 八東保育所 |
| | 資源再利用の促進 | 廃材の保育教材への活用 | 廃材を保育活動で活用し、ものを大切にすることを育てる | ペットボトル等の空き容器を保育活動に取り入れるとともに分別の仕方を学んだ廃材や自然物を利用した製作活動を積極的に行った | 保育所から出る廃材を使用したり、各家庭へ廃材の回収を依頼し、保育教材として使用する | 八東保育所 |
| | 省エネ・省資源 | 節電の推進 | 電気の適正利用に努め、利用者にも啓発する | 各部屋に冷暖房使用時の設定温度についての張り紙を行い、利用者の協力を得ながら可能な範囲で節電に努めた | 電灯や空調の適正利用を率先して行い、また利用者にも声を掛ける等協力依頼をする | 中央人権啓発センター |
| | イベント・行事等における環境配慮 | イベント・行事等における環境配慮 | イベントや行事、各種活動においてごみの分別・廃棄や使用するものに配慮する | イベント用の容器は焼却可能な紙容器を使用し、次年度以降も使用可能な案内等の紙はラミネート保存し、繰り返し使用できるよう工夫した 児童館事業では再利用できるものや廃材を再利用した | ごみの分別や減量に努め、資源を再利用する等環境に配慮する事業で使用する資料や材料に環境に配慮したものを使用する | 中央人権啓発センター |